

2013-04-01

ふじさわ・九条の会ニュース

NO32



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

hp:http://www.geocities.jp/fujisawa_9jo/

meil:mk-muran@cityfujisawa.ne.jp (ニュース担当)

— 憲法9条の新たな危機に、どう対処すべきか —

3/3 9条の会事務局と9条科学者の会共催で学習会

3月3日、お茶の水の明大リパティータワーで、「憲法9条の新たな危機に抗して」というテーマで学習会が開かれた。開催したのは、九条の会事務局と科学者九条の会。参加者は400名ふじさわ・九条の会からも3名が参加した。

— 基調報告 —

九条の会 小森陽一事務局長



先の衆議院選挙で、改憲勢力が2/3以上の議席を占め、夏の参議院選挙でも改憲勢力が議席を伸ばすようなことにでもなれば、一気に改憲に向かいかねない情勢の下で、こうした流れに、如何に抗して行くかをテーマに今回の学習会がもたれた、との報告があった。そして、今年に入って、九条の会の呼びかけ人の4名（大江健三郎氏、奥平康弘氏、澤地久枝氏、鶴見俊輔氏）が九条を守るための緊急アピールを発表したことも報告された。前回安倍首相が憲法改悪を打ち出したとき、全国に9条の会が無数に発足され、安倍首相のねらいをさせた。今回も前回以

上に、9条の会の運動を強め、改憲の企てを阻止しようとの訴えがなされた。

五十嵐仁法政大学教授の講演



法政大学教授の五十嵐仁氏からは、「日本政治の右傾化と憲法の危機」と題して講演があった。

安倍政権の危険性、更に右傾化の進行状況などが話された。閉塞感の高まりの中で単純な勇ましい言葉で踊るポピュリズム、自分達より恵まれている人達を引きずり下ろしてうっぶん晴らしをする政治の横行、売らんかなのマスメディア等の弊害について話され、7月の都議選、参議院選に向けて、政治的信条や、政治的立場を超えて、改憲阻止の一点で共同・大同団結が必要と訴えられた。

松田竹男大阪市立大学教授の講演



大阪市立大学教授の松田竹男氏からは「ここが危ない、集团的自衛権」とのテーマで講演があった。現在の日本政府は、日本が攻撃されたとき、日本を守る

ためにのみ戦うという専守防衛の立場に立っているが、憲法の解釈を変えるだけで、米軍を守り米軍と共同して戦える集团的自衛権を目指している、とその危険性を指摘された。(文責小林)

時の詩人

アーサービナードさんが語る

一流の憲法と三流の政治



3月23日、茅ヶ崎市民文化会館で、満開のサクラの下、花見たけなわの中央公園を尻目に会場に向かった。日本がいま正に直面している『一流の憲法と三流の政治』をズバリタイトルにした「九条の会・ちがさき」のセンスに惹かれてアーサービナードさんの講演会に行ってきた。地元、文教大学・和太鼓サークル「楓」の迫力ある演奏のあと、アーサービナードさんは世界に誇れる「憲法九条」について、ここ茅ヶ崎に話しに来たことがあり、今回二回目です。今日は、危機に立っている「日本国憲法とTPP」が三流の政治によって同時に丸め込まれようとしていることが心配で、いたたまれずやって来た、と話し始めた。

もともと日本語に興味を持って20年以上前に日本に来たが、日本語を深く学ぶうち「九条」を知り、そのすばらしさに感動し、日米の憲法を比較することに没頭した。

広島、長崎に原爆を落とし、おびただしい数の一般市民を殺した。朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、イラク・アフガン戦争と米国はたえず違法な戦争をやり続けてきた。

日本は、「憲法九条」のおかげでこの67年間、国際紛争で一人の命も失っていない。その上、国会で憲法を論議できるのはすばらしいことだと思っていた。しかし、ここ数年は日本も米国同様憲法の歯止めが緩み、いつの間にか国民はペテンにかけられ「海外派兵も合憲だ」と公言する三流どころか四流、五流の政治家が横行している。古くはビキニ諸島の第五福竜丸事件、

二年前の福島第一原発事故で見るように「体の中で戦争は今も確実に進んでいる」と言える。

いまこそ、わたしたちは力を合わせて、7月参議院選挙で、しっかりものを見据えるレンズを持った政治家を選び抜かなければならない、と話された。詩人のアーサービナードさんのもの静かな姿からは想像できないパンチのきいた言葉が次々と飛び出した60分だった。参加者は380名。(レポート 國枝健)

世界に誇れる 美しい日本国憲法をありがとう —ゴードンさんの死を悼む—



日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝

<ゴードンさんの自伝の表紙より>

昨年12月30日、ベアテ・シロタ・ゴードンさんが亡くなりました。享年89歳、膵臓癌でした。心からお悔やみ申し上げます。

ゴードンさんと「ふじさわ・九条の会」とのご縁は、当時22歳だったゴードンさんを含め、20代から50代までのメンバーたちが、1週間で日本国憲法の草案を作り上げる過程を舞台にした青年劇場の「真珠の首飾り」の上演会から始まります。2004年7月の藤沢での公演には、1000名を超える人々が鑑賞し大成功を収めました。この「真珠の首飾り」の成功をきっかけに「ふじさわ・九条の会」が結成されることになったものです。ゴードンさんが憲法草案で、男女同権にこだわったのは、幼少時代を日本で過ごし、当時の日本に「女性の権利が全くない状況」を体験したためとのことです。

また、東京で育った当時、憲兵が自宅の周りに毎日のように来ていた。「日本の軍国主義を自分の目で見た」というゴードンさんは、平和に対する信念も強かったようです。ゴードンさんが心血を注いで作り上げた贈り物を、いつまでも大切に受け継ぎたいと思います。(永田)

3月21日春の一斉チラシ撒き 片瀬山地区、全戸配布

好天に恵まれた3月21日。「ふじさわ・九条の会」は片瀬山1丁目から5丁目（約1700世帯、4000人）を対象に「輝け！憲法九条」片瀬山にお住まいのみなさまへ”のチラシの全戸配布を行いました。この日は午後1時に集合、12人が片瀬山市民の家に集まり5班に分かれてスタートしました。

配布地域は家並みや道路がわかりやすく、順調に配布することができました。1時間半かけて約1500枚のチラシを配りきりました。片瀬山は高齢化が進み、空き家や2世帯住宅も目立ち、これから介護や移動手段としての交通の問題などが課題となろうとしています。今回のチラシが身近な生活と憲法を結びつけて考える機会になればと思いました。

配布参加者からは、配布中に「何のチラシですか」「ごくろうさま」などの声が懸けられ、やって良かったなどの感想がだされました。

（江ノ電沿線九条の会 石井宏典）

福島っ子に リフレッシュあれ！

3月27日、朝からの雨も上がり、福島の子も達を神奈川県立女性センターに出迎えた。原



発事故による放射能汚染で不安を抱きながら生活しているご家族に短期間でもリフレッシュしていただくことを願って企画した第2回目の取り組み。鈴木市長も参加しての歓迎会。大人は



地元藤沢市民と交流を深め、子どもたちは「片瀬ゴマ」や「紙芝居」を楽しんだ。

こうして4泊5日の「リフレッシュ in 湘南」がスタート。28日は自由行動。鎌倉方面に出かけたり、江の島展望灯台や岩屋の見物、磯遊びを楽しんだり。南相馬の子どもたちは海があっても海水浴はできない。「ウミウシ」を触ったり「ウニ」の子どもに驚いたり、波との追いかっこに夢中になっていた。29日は新江の島水族館からこどもの国へ移動。自然の中でのびのび遊び、バーベキューも楽しんでもらった。今回も行政はじめ各種団体、大勢のボランティアの方々に助けられて無事終了。（齋藤）

イマジン湘南まつり 3月11日 遊行寺境内で



3月10日、藤沢市の遊行寺境内で「3・11から生きる知恵・イマジン湘南まつり」が行われました。若い人を中心に数百名が集まり、各種ライブや出店、バザーや展示がありました。大震災以来、藤沢でこうした催し物が行われるのは、今年で3回目です。子連れ若いママ達も大勢集まり、次代を担う若者のパワーを感じる集会でした。（小林）

九条実現! 止めよう戦争へのシタン
高田健さん
ふじさわ
九条の会
8周年
AMANA
記念講演
&
コンサート
ピースパレード
平和を
願って
歩きま
しょう!

日時 2013年5月19日(日)
13時30分 藤沢市民会館小ホール

一雪の成人式—
新成人に「9条しおり」を配布



記念講演
高田健さん
九条の会事務局
講演テーマ
「安倍政権の改憲戦略
私たちは
どう立ち向かうか」

ギターボーカル 「AMANA」



長野県南佐久郡
北相木村（松原
湖近く）からギ
ターボーカル「A
MANA」がや
ってくる。「愛と
平和、環境問題」

をテーマにオリジナル中心のミニコンサートで、心暖まる、ひと時をお楽しみ下さい。
本名、井手正 教子、以前は東京で活動していたカップル。自然を求めて、佐久に手作りの山小屋を建て移住。長野、山梨、各地でアースデーのイベント等に参画。井手正さんは長野県では有名な木工家。お二人は「佐久九条の会」の発起人のメンバーでもある。（國枝）

<今年のパレードコース>

今年のパレードは、市民会館～イトーヨーカドー～ファミリー～藤沢駅南口～東電～郵便局～銀座通り～社会保険事務所前～解散 です。

今年の成人式は、1月14日。市民会館に向かう若者たちに、「特製のしおり」（完全防水の永久保存版、ほのぼの柄）を藤沢駅南口で配布しました。雪の中、新成人の若者達は、にこやかにしおりを受け取ってくれました。
若い皆さん、これからの長い人生、どうぞお幸せに。日本の苦難の極まりの時代に、変革の道を、地味でもコツコツ、本物の平和と繁栄への道へと舵を切ってゆきましょう。
小さなしおりが、若者たちに、いつまでも9条からのメッセージを発信し続けていってくださるように。（白田）

<今後の主な日程>

- 4月 9日(火) 13:30 サンパール広場 9の日行動
- 11日(木) 18:30 事務局会議
- 26日(金) 13:30 世話人会議
- 5月 1日(水) 10:00 メーデー 奥田公園
- 3日(金) 11:00～12:00 サンパール広場 憲法記念日9の日行動
- 17日(金) 18:30 事務局・世話人合同会議
- 19日(日) 13:30 市民会館小ホール 8周年のつどい パレード
- 6月 2日(日) 14:00 全体集会 市民会館
- 9日(日) 13:30 サンパール広場 9の日行動